

運行会社「事業許可」取り消しか バス事故 違反項目の点数の累計 ⇒ 事業取り消しにあたる可能性

(2016/01/30 11:50)

長野県のスキーバス事故で、国土交通省の特別監査を受けたバス運行会社が複数の法令違反により、事業許可の取り消しになる可能性があることが分かりました。

国交省は事故当日から、バスを運行していた会社への特別監査を続けていて、29日も追加で監査に入りました。これまでの監査で運行会社は国の基準の最低額を下回る運賃契約を結んでいたことや運転手に健康診断を受けさせていなかったことなど、数多くの法令違反が見つかっています。処分内容はそれぞれの違反項目の点数の累計によって決まりますが、国交省への取材で、これまでの法令違反を合わせると事業許可取り消しにあたる可能性があることが分かりました。国交省は年度内に運行会社に対する処分を出す方針です。

36協定結ばず、月131時間残業 トラック業者を労基署が送検

2016.02.01

交通事故を契機に臨検し違法残業が発覚—大阪西労働基準監督署は、36協定を結ばずに労働者に違法な残業を行かせた運送会社と本社代表取締役を労働基準法第32条（労働時間）違反の容疑で大阪地検に書類送検した。平成27年8月、静岡県で同社の大阪営業所に所属する労働者が運転するトラックが1人が死亡、2人が重体、3人が軽傷を負う交通事故を発生させた。直後に同労基署が臨検を行ったところ、同労働者に対して平成27年6月21日～7月20までの1カ月間、36協定を締結しないまま、1週40時間の法定労働時間を超えて、1カ月当たり131時間41分の時間外労働をさせていた。

「なれた道・なれた仕事」、「過信」に注意！
＜”だいたいだろう”は厳禁＞

交差点 「青」 信号で発進時
前方、左右、歩行者の安全確認を、もう一度しましょう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

「ヒヤリ」は、事故の「予兆」！
「安全確認」で、危険な「まさか…」を根絶！

”スピードダウン”で安全運転

午後6時 赤信号で停車の車に追突、1人死亡

2016年1月31日(日)12時43分

31日午後6時ごろ、神奈川県 of 国道の信号交差点で乗用車3台が絡む衝突事故があり、男性1人が死亡、男女4人が軽傷を負った。警察によると、小学校の男性教諭（58）の運転する乗用車が、赤信号で前方に停車していた乗用車2台に追突。男性は軽傷を負い、後部座席に乗っていた知人で、無職の男性（75）は間もなく死亡した。追突された2台に乗っていた生後6カ月の女兒と29歳の男女2人も軽傷を負った。

午後4時 横断歩道の7歳女兒をひき逃げ 容疑の女逮捕 付近の防犯カメラに映っていたナンバーから

2016.1.31 21:41

31日、小学2年の女兒（7）を車でひき逃げしたとして、自動車運転処罰法違反（過失傷害）と道交法違反の疑いで、パート従業員の女性容疑者（44）を逮捕した。逮捕容疑は1月12日午後4時15分ごろ、市道交差点で、横断歩道を渡っていた女兒を右側から軽乗用車ではね、右すねを骨折させる重傷を負わせ、逃走した疑い。警察によると、「（現場を）通行したが、事故を起こした覚えはない」と供述している。現場では事故時、容疑者の車と同じ色の軽乗用車が目撃され、付近の防犯カメラに写っていた車とナンバーの一部が一致したことなどから関与が浮上。容疑者の車の左前部にこすったような傷が見つかった。

積雪でスリップ、対向車線へ…大型トラックと衝突、死亡

2016年1月30日(土)13時57分

30日午前2時ごろ、宮城県の国道で、軽乗用車がセンターラインを越え、対向車線を走っていた大型トラックに衝突しました。この事故で、軽乗用車を運転していた男性（58）が頭を強く打って死亡しました。大型トラックを運転していた男性（32）にけがはありませんでした。事故当時、雪が降っていて、現場の路面は積もった雪が踏み固められて滑りやすい状態だった。警察は軽乗用車が雪でスリップしたとみています。

バスの運転手の前方不注意 観光バスが、渋滞最後尾のトラックに追突…2人負傷

2016年1月25日(月)11時54分

25日午前8時10分頃、東京都の首都高速で、観光バスが、渋滞の最後尾のトラックに追突、計3台が絡む玉突き事故になった。バスの男性運転手（34）が足を挟まれて負傷したほか、追突されたトラックの男性運転手（48）も首に軽傷。警視庁高速隊は、バスの運転手の前方不注意とみている。